

【活動の主題】 桐原小学校 創立150周年記念事業

【副題】 笑顔かがやく 夢いっぱい 桐原っ子150周年の絆～

【学校名】 近江八幡市立桐原小学校

1 本校の概要

本校は、585名の児童が在籍している。近江八幡市の北西部に位置し、田んぼや畑に囲まれている傍ら、住宅地が増えている地域である。校舎は10年前に新しく建て替えられ、小学校とコミュニティセンターが一体となっており、地域に根ざした教育活動の展開と、学校と地域が交流できる環境が本校の魅力である。

2 取り組んだ内容

(1) 創立150周年記念事業

桐原小学校運営協議会での協議を経て、以下の内容で記念事業を実施した。本校学校運営協議会のメンバーの多くが卒業生であったことから、学校運営協議会での熟議を通して、学校が地域の思いや願い、卒業生の願いを共有することができた。また、桐原学区青少年育成市民会議の皆さんの協力を得て、6年生とコラボした事業を実施した。

子どもたちが地域への愛着と誇りを感じて、感謝の心を育むことを目標に活動を進めた。

<桐原小学校150周年記念式典>

第1部 記念式典

- ① 校歌斉唱
- ② 校長式辞、記念サッカーボール贈呈
- ③ スライドショー「桐原小150年の歩み」
- ④ ようこそ先輩「子どもたちに伝えたいこと」
～本校卒業生から在校生へ～
 - ・滋賀県議会議員 重田 剛さんより
 - ・桐原わくわくプロジェクト 西 利範さんより
- ⑤ 150周年記念ペットボトルツリー点灯
～桐原学区青少年育成市民会議さんと
本校6年生の記念コラボ～

第2部 記念アトラクション

- ・和太鼓演奏集団 和湖さんの記念公演

3 活動の成果

10月31日に来賓の方々のご臨席のもと、記念式典を盛大に終えることができた。

第1部の式典冒頭、校長式辞の中で、元気いっぱい外遊びが大好きな子どもたちに、学級数分のサッカー

ボールの贈呈があった。会場には大きな拍手が起こり、今すぐにも遊びに行きたいと言わんばかりの笑顔が見られた。次に、過去から現在までを振り返るスライドショーを上映した。木造校舎の白黒写真の時代から現在までを振り、当時の運動会や学校生活の様子を映像で初めて見る子どもたちからは、「えー!」「今と全然違う」等の驚きの声が上がっていた。『ようこそ先輩』と題して、本校を卒業されたお二人の方にお話もしていただいた。「友だちの良いところをいっぱい見つけてほしい。自分も友だちも大切にしてほしい。」「一生のうち一度しか経験できない六年間の小学校生活を楽しんでほしい。学校で学んだことをなんで? どうして? と追究、探究してください。」とそれぞれメッセージを送ってくださった。第1部のフィナーレでは、桐原学区青少年育成学区市民会議の全面的なバックアップのもと6年生が作成したペットボトルツリー（希望の灯）を点灯。子どもたちはきれいなイルミネーションの灯に大興奮、点灯した瞬間の感動は心に強く残った。

第二部では、和太鼓楽団『和湖』による公演。迫力満点の演奏に圧倒されながらも、子どもたちは体を動かしたり、リズムに乗って手拍子やジェスチャーをしたりして、大変楽しい時間を過ごした。元気いっぱいの桐原っ子にぴったりのお祝いの時間となった。

創立150年目の節目をこのように迎えたことで、子どもたちは一段と「桐原小学校」を誇りに思ったことだろう。感謝の気持ちを忘れず、これからの桐小を築いていこうと気持ちを新たに素晴らしい時間となった。

